

見て、聞いて、元気になる「幻燈会」第2弾

こんなまちに住みたい+

—まちづくり絵本と名曲の響きあうタベ—



語り（幻燈師）：延藤 安弘 氏（NPO 法人まちの縁側育くみ隊代表理事）

9月19日（土）18:30（開場 18:00）～20:45

板橋区立グリーンホール 2階ホール 参加費 1000円

東武東上線「大山」下車5分 都営三田線「板橋区役所前」下車7分（板橋区栄町36-1）

絵本オンリー！ 怒濤の12プログラム！！

2013年9月におこなった「見て、聞いて、元気になる幻燈会一人・まち・住まいの未来を考える」は大評判でした。今回は新しい本「こんなまちに住みたい+」が出版され、その新著に登場する絵本を紹介する絵本幻燈会です。「絵本が育む暮らし・まちづくりの発想」延藤先生がセレクトした音楽（CD）と共に、お届けします。またプログラムの中には、力に力で対抗する強さの論理発想を変える絵本やユニークな反戦絵本も含まれています。楽しいひとときをご期待ください。

<注目する二つの本から・・・>

①「こんなまちに住みたい+」晶文社 絵本が育む暮らし・まちづくりの発想

視点一 笑いが突破口をつくる・・・「笑い」には精神の内からの自由が触発される働きがあります。

視点二 楽しさを旨とする・・・発想転換への「扉」を開かせる鍵は「楽しさ」です。

笑いを伴う「楽しさ」は生きることの自由な心の「扉」を開かせる大切な役割を果たします。

視点三 あいだを大切に作る・・・生きることとまちを育むことに向けてのキーワードは「間（あいだ）」です。「笑い」や「楽しさ」は、個人の内側にこもっていても、叶わぬことです。

②「まち再生の術語集」岩波新書

「停滞と閉塞の時代に注目されるコミュニティデザインという発想。地域の力は、人びとがヒト・モノ・コトの渦に参加し、物語を紡ごうとする意志から始まる。まち育ての助っ人として全国を駆け回る筆者が住民・行政・専門家・支援者のトラブルをドラマに変える現場で捕まえた、まち再生思想と手法のキーワード集」（紹介より）です。

主催：株式会社リブラン / 住まいとまちづくりコープ

後援：NPO法人設計協同フォーラム / 新建築家技術者集団東京支部



住まいとまちづくりコープ

〒174-0072 板橋区南常盤台1-38-11-1階
TEL5986-1630 FAX5986-1629
e-mail sumaimachi@sumaimachi.net
千代崎一夫/山下千佳



2015.9

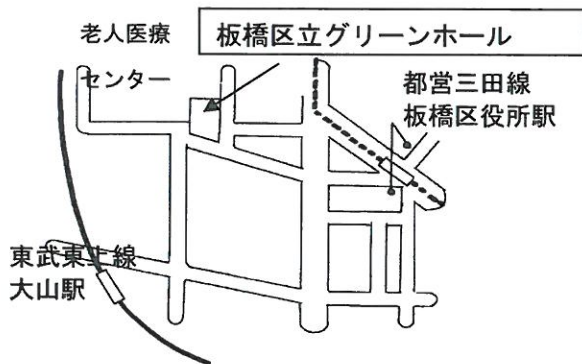
<延藤さんのプロフィール>



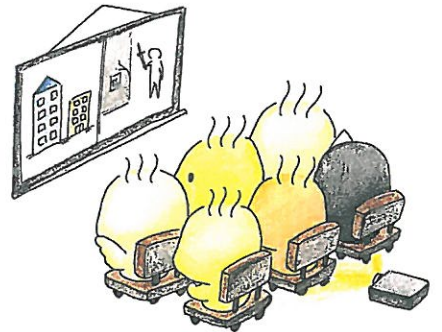
1940 年大阪生まれ。北海道大学工学部建築工学科卒業、京都大学大学院修了。工学博士。京都大学助手、熊本大学教授などを経て 1997 年より千葉大学工学部都市環境システム学科教授。NPO 千葉まちづくりサポートセンター代表。コーポラティブ住宅や住民主体のまちづくりの伝道師として全国を飛び回っている。「コミュニティを生成するハウジングに関する一連の研究」で 1990 年日本建築学会賞受賞。「もやい住宅・Mポート」で 1995 年日本建築学会作品選奨受賞。

主著に『こんな家に住みたいナ』『これからの集合住宅づくり』『集まって住むことは楽しいナ…住宅でまちをつくる』『何をめざして生きるんやー一人が変わればまちが変わる』『まち育て』を育むー対話と協働のデザイン』など。

乾亨・延藤安弘編著『マンションをふるさとにしたユーコート物語—これからの集合住宅育て』（2012年1月刊）が「こども環境学会 論文・著作賞」と「日本生活学会 今和次郎賞」を受賞。



◎ まち育てしりとり自己紹介

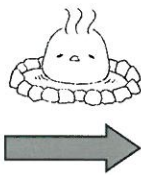


見て、聞いて、元気になる「幻燈会」第2弾

9/19（土）18時開場
板橋区立グリーンホール2階

こんなまちに住みたいナーまちづくり絵本と名曲の響きあうタペー

お申し込み、お問い合わせ先
メールでお申し込みの方は件名
に「幻燈会参加」とお書き下さい。



住まいとまちづくりコープ
FAX 03-5986-1629
メール sumaimachi@sumaimachi.net

<参加申込> 「幻燈会」に参加します。

ふりがな

氏名 _____ 所属など _____

連絡先 住所（〒 _____）

TEL： _____ FAX： _____

メール： _____

